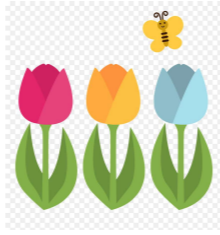


# まるやま



Vol.102 (令和4年4月号)



新型コロナウイルス感染症対策のため、食堂の席にアクリル板を設置しました。毎食後に消毒を行い、感染予防に努めています。

## アクリル板設置



## 感染症対策

## ワクチン接種

入所者の新型コロナウイルスワクチン3回目の予防接種を行いました。65歳以上の人は2月10日、64歳以下の方は4月12日に予防接種を行いました。



## 手洗い場設置

地域交流ホームに新たに手洗い場を設置しました。ふれあいホールが食事場所のさつき・さくらフロアの入所者は、食事前に手洗い・消毒を行っています。



## 【入所者の状況】

### (障害別)

区分	身体障害	知的障害	精神障害	身体障害 知的障害	身体障害 精神障害	知的障害 精神障害	身体障害 知的障害 精神障害	その他
男性	1	2	47	2	2	8	1	19
女性	0	5	40	1	0	7	2	7
計	1	7	87	3	2	15	3	26

### (年齢別)

区分	~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	合計
男性	1	1	8	18	26	24	4	82
女性	0	1	4	15	21	14	7	62
計	1	2	12	33	47	38	11	144

(令和4年4月1日現在)

## 編集後記

満開の桜も数日の雨で一瞬のうちに散ってしまいましたね。このコロナ禍で入所者の方々も制限が多く辛いとは思いますが一緒に楽しみを見つけながら心をつなげて、この状況を乗り越えていけたらと思っています。次号から機関紙発行委員が交替します。今後ともよろしくお願い致します！

(機関誌発行委員会)

※当機関誌に掲載されている写真、氏名等の個人情報は、本人に了承を得ています。

## 今号の主な記事

各フロアだより	2面
施設長就任挨拶	3面
栄養士より	3面
感染症対策	4面

## 発行

社会福祉法人 松山隣保館 丸山荘  
救護施設

〒790-0062

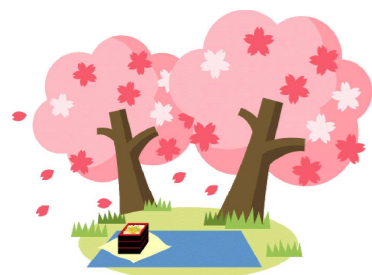
愛媛県松山市南江戸六丁目1697番地

TEL 089-946-5110

FAX 089-925-9766

URL <http://www.rinpokan.or.jp>

E-mail [maruyamasou@ehime.email.ne.jp](mailto:maruyamasou@ehime.email.ne.jp)



フ  
ロ  
ア  
便  
り

新型コロナウイルスの感染症対策のため、全体での行事は実施せず、フロア毎にイベントを企画し実施しています。各フロアの様子をお届けします。

グラウンドゴルフで  
ナイスショット！つばき

つばきフロアは3月28日、桜満開の下でグラウンドゴルフ大会を開催しました。久しぶりの屋外での活動でしたが、皆さんナイスショットを連発されていました。優勝はなんとフロア最高齢の方で、ホールインワンド達成というオマケ付きです。

身体を動かした後はおやつを食べて、ちょっとした花見気分を味わいました。感染症対策に加え、まだ寒い日もあり屋内で過ごすことが続いていました。しかしこの日は過ごしやすいく気温にも恵まれ、入所者にとって少しだけ息抜きになったと思います。



すみれフロア  
イベント

すみれフロアは、感染症対策のためフロア内で誕生日や季節行事を行いました。また、希望者を募り、マクドナルドやミスタードーナツを食べる企画も行い、感染症対策中のなか少しでも気分転換ができたと思います。

今年もさくら祭りは行われませんでした。が、皆でフロア内にさくらの花に見立てたかざりつけをして、お花見弁当を食べるなどして過ごしました。

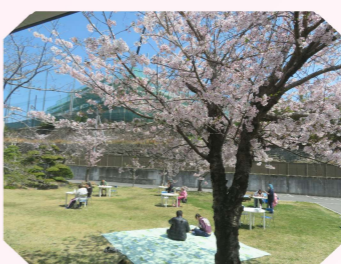


お花見とボーリング  
さつき・さくら

さつき・さくらフロアは、4月4日にフロアイベントをしました。

希望者は中庭で花見をしながら昼食の弁当を食べました。晴天の中、満開の桜を観ながらの食事は、普段以上に美味しく感じられたようです。

午後からはボーリング大会をしました。優勝した人は、ストライクを出しての勝利。感染症対策で活動の自粛が続く中、桜の花も笑顔も満開の楽しい時間を過ごす事ができました。



施設長就任の挨拶



この度、救護施設丸山荘の施設長に就任しました弓達秀樹と申します。

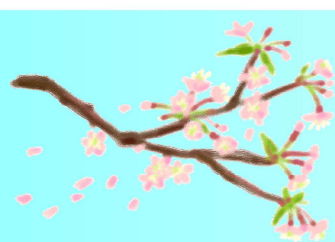
皆様のおかげをもちまして、丸山荘は今年開設六十周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のご支援・ご協力あつてのことと、心より感謝しております。

そして、この歴史ある施設の施設長という職責の重みを今更ながら感じております。

丸山荘の理念の実現に奮闘努力されてきた栗林前施設長はじめ、全職員の思いを引き継ぎ、今後も職員一丸となり、「入所者が自らの人生をどう生きるかを考え、幸せな生活を送れるように」の基本理念のもと、安心して暮らし続けられるよう努めるとともに、地域に根差した施設づくりを実現するため、微力ではございますが努力して参りますので、どうかご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人松山隣保館 救護施設丸山荘

施設長 弓達 秀樹



コロナ禍の食事を楽しむために...

栄養士 大西美千恵

春の日差しが心地よい季節、今年も丸山荘の桜が満開となりました。

例えば2年前の春、日常が一変。イベントや外出も中止になり、皆さんの楽しみが激減してしまいました。食事はフロア毎で席も離れそのうえ黙食。そんな生活にも今では慣れてきました。外食の行動制限の多いなか、楽しみにしている食事にイベントを多く取り込む工夫をしています。

例えば、桜を見ながらのお花見昼食会はお日様の下で自然の風を感じ五感を刺激しながら食べる昼食会となっております。その他、毎月のお誕生会や旬菜メニュー、今年のパレンタインは好きなケーキ3種を選択したり、『お城巡り』では名城ご当地メニューを提供し、旅行気分を味わって頂く等、楽しく飽きさせない食事、そして身体に良い食事等を日々考えております。また食事だけでなく、免疫力をアップさせる食べ物を紹介したり、虫歯の日にはカルシウムの吸収が良い食事を提供してその説明を新聞で紹介し、しっかりと食べて頂ける様にしてみました。

またイベントだけではなく、感染症が発症した時の為に、フロアでの食事訓練も取り入れております。

今年度は月に何度かのおやつ提供も考えており、外出できなくても施設の中で食事を楽しんで頂ける様努力していきたいと思っております。

